



## 妊娠や子育てで悩んでいませんか？

児童虐待による痛ましい事件は後を絶ちません。1歳までに健やかに育つ環境を整えることができれば、助かったかもしれない小さな命。児童虐待は社会全体で解決すべき問題です。

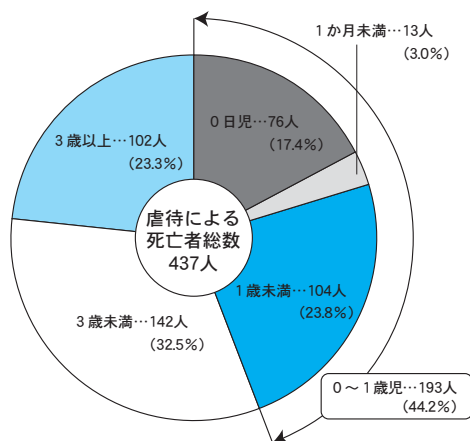
### ◇児童虐待とその原因

国が平成15年7月から平成23年3月までの虐待による死亡事例を分析した結果が右の図のとおりです。

総数437人中、0歳児が193人(44.2%)、そのうちの0日児(生後24時間以内の死亡)が76人(39.4%)を占めています。

生まれて1か月に満たない乳児の死亡原因を調査した結果、母親が①望まない妊娠②若年出産の経験あり③経済的問題があるなど、出産・育児に不安を抱えていたことがわかりました。さらに、20歳未満の若年妊娠の場合、妊娠8か月頃になるまで、家族も学校も気がつかなかったという事例もあります。

これらのことから、生まれて1か月に満たない乳児の死亡を防ぐためには、妊娠、出産期を含めた早期からの相談、支援体制が必要です。



### ◇妊娠のことで悩んだときには ～「すこやか妊娠ほっとライン」をご存知ですか？～

茨城県が公益社団法人茨城県看護協会に委託して、妊娠に関する電話相談を行っています。秘密厳守ですので安心してご相談下さい。専門の相談員がお受けいたします。

たとえば、

- ・月経が遅れている
- ・緊急避妊について知りたい
- ・お腹の子が無事育ってくれるかどうか不安
- ・予期せぬ妊娠どうしよう
- ・つわりがひどくてつらい
- ・産みたいけれど育てられるか心配 など

**すこやか妊娠  
ほっとライン**

**☎029-221-1124** (相談は無料ですが、通話料は利用者負担になります。)  
開設時間 10:00～18:00 (土日・祝日、年末年始を除く)

### ◇虐待を受けていると思われる子供を見つけたり、ご自身が出産や子育てに悩んだときには

あなたの通報が、子どもの命を救います。虐待と思ったらすぐに児童相談所や町健康福祉課にご相談ください。

**児童相談所  
(全国共通ダイヤル)**

**☎0570-064-000**

全国共通ダイヤルに電話をかけると、発信された電話の市内局番等から地域を特定し、管轄する児童相談所に電話を転送します。

### 「乳幼児揺さぶられ症候群」をご存知ですか？

～赤ちゃんを激しく揺さぶらないで～

赤ちゃんが何をやっても泣き止まないと、イライラしてしまうことは誰にでも起こり得ます。しかし、泣きやまないからといって、激しく揺さぶらないでください。赤ちゃんや小さな子どもが激しく揺さぶられると、見た目にはわかりにくいですが、頭(脳や網膜)に損傷を受け、重い障害が残ったり、命を落とすこともあります。どうしても泣き止まない時は、赤ちゃんを安全なところに寝かせて、その場を少しでも離れ、まず自分をリラックスさせましょう。

(厚生労働省「児童虐待防止推進月間」パンフレットより抜粋)

問合せ 健康福祉課 ☎029-240-6550